

2013年頃にフラジャイル・ファイブ（経済ファンダメンタルズの脆弱な5つの新興国）の1つに数えられたインド。それらの国の通貨はその後どうなったのでしょうか？

シャイニング・インド（マクロ関連）～大きく改善したインドの経済ファンダメンタルズ～

▶ フラジャイル・ファイブ

✓ リーマンショック（2008年）や欧州危機（2010～2012年頃）等の影響を受け、新興国の経済は疲弊しました。主要な新興国の中で、特に経済ファンダメンタルズが弱く、改革が必要とされるトルコ、ブラジル、南アフリカ、インドネシア、インドの5カ国は、フラジャイル・ファイブ（米国のモルガンスタンレー社が2013年に出したレポートで命名）と呼ばれ、それらの国の通貨は下落基調にありました。

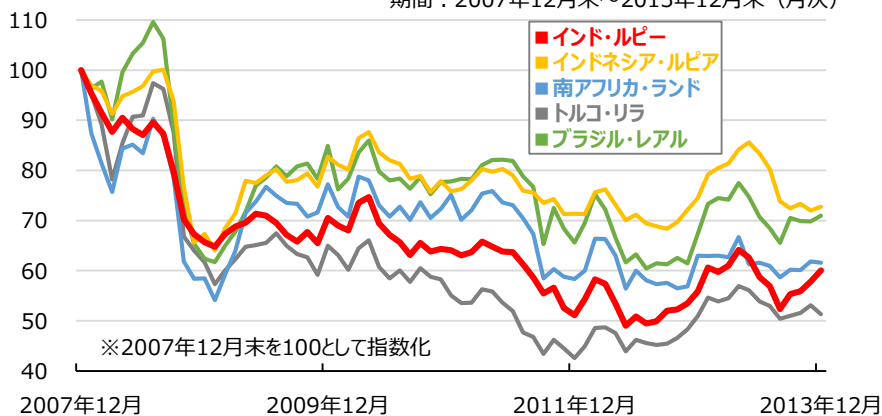
▶ 5カ国の中で開いた大きな差

✓ その後、経済改革の進捗度合いによって5カ国の中で明暗が分かれました。積極的な経済改革により、順調な経済成長とともに通貨が安定したインドとインドネシア、逆に改革が遅れ、経済の停滞と通貨の弱含み・下落が続くブラジルとトルコとの間で大きく差が開きました。

✓ 特にインドは、2014年に首相に就任したナレンドラ・モディ氏による経済政策、所謂「モディノミクス」によって、経済ファンダメンタルズの安定・強化に成功しており、今後の更なる発展が期待されています。

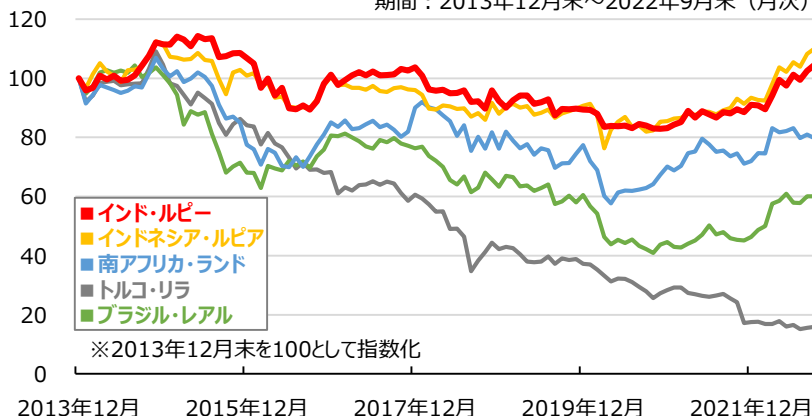
通貨（対円）の推移①

期間：2007年12月末～2013年12月末（月次）



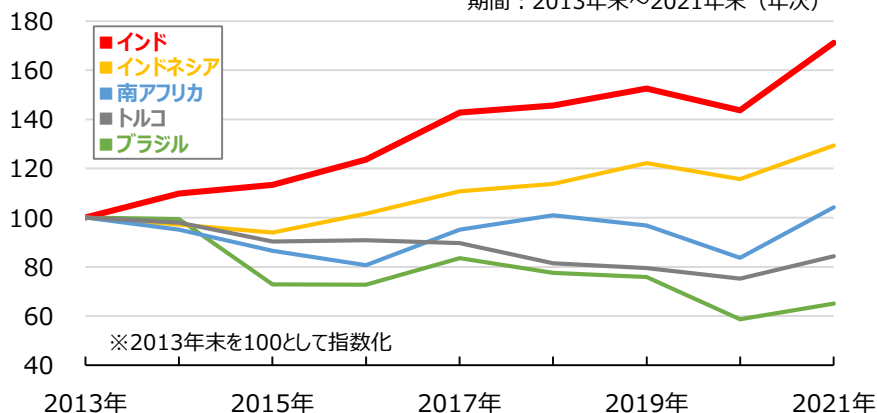
通貨（対円）の推移②

期間：2013年12月末～2022年9月末（月次）



名目GDP（米ドルベース）の推移

期間：2013年末～2021年末（年次）



出所：ブルームバーグ、IMFのデータを基にバインブリッジ・インベストメントズ作成

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会